

様式 5

平成 28 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 29 年 1 月 18 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・教授

申 請 者 名 佐久間 康之

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学会参加)
事業名	Psychonomic Society's 57 th Annual Meeting (海外)
事業実施期間	平成 28 年 11 月 15 日～平成 28 年 11 月 23 日
成果の概要	<p>Psychonomic Society's 57th Annual Meeting(アメリカ合衆国ボストン市で開催)にて 11 月 18 日にポスターセッションで発表を行い、参加者と意見交換を行った。</p> <p>発表タイトルは以下の通りである：</p> <p><i>The Positive Influence of Elementary School English-language Activities on Attentional Abilities and Automatization of English Stroop and Reverse-Stroop Effects: A three-year cross-sequential study</i></p> <p>本研究は小学校外国語活動を経験している 2 つの学年(初年度の小学 5 年生と中学 1 年生)の日本人英語学習者を対象に 3 年間にわたりストロープ効果と逆ストロープ効果の変容を探ったものである。</p> <p>詳細は別の PDF ファイルを参照願います。</p>